

## シラバス/Syllabus

## ■ 授業情報/Course Information

|  |  |   |                              |                   |
|--|--|---|------------------------------|-------------------|
| 授業コード/Class code                           | 97107002   | 開講キャンパス/Campus  | 大阪梅田キャンパス/Osaka Umeda Campus |                   |
| 授業開講年度/Academic Year                       | 2026年度   | オンライン授業60単位制限対象科目<br>The 60-credit limit for online courses |                              |                   |
| 管理部署/Administrative Department             | 経営戦略研究科/Institute of Business and Accounting   |   |                              |                   |
| 【科目ナンバー】授業名称<br>【Course Number】Class Title | 【500】コーポレート・ファイナンス 2/Corporate Finance   |   |                              |                   |
| 単位数/Credit                                 | 2  | 履修期/Term  | 秋学期前半/Fall (1st Half)        | 曜時/Day and Period |
| 担当者/Instructor                             | 岡田 克彦(OKADA KATSUHIKO)   |   |                              |                   |
| 履修基準年度<br>Standard Year for Registration   | 1年   |   |                              |                   |
| 履修登録方法<br>Types of course registration     | 本登録  |   |                              |                   |
| 主な教授言語/Language of Instruction             | 日本語/Japanese   |   |                              |                   |
| 授業形態<br>Course Implementation Format       | 対面授業科目/Face to face format   |   |                              |                   |
| 特記事項/Special Instructions                  | 【合併】コーポレート・ファイナンス 2(経営戦略研究科)/コーポレート・ファイナンス基礎 2(経営戦略研究科)  |   |                              |                   |
| 授業目的/Course Purpose                        | 経営財務に必要な最低限の知識と考え方について学ぶ   |   |                              |                   |
| 授業目的(英文)<br>Course Purpose                 | Students will learn the basic concepts in corporate finance to deal with various corporate finance issues in the real world.   |   |                              |                   |
| 到達目標/Learning Goals                        | 受講生はコーポレート・ファイナンスで使われる専門用語(正味現在価値、企業価値、資本コスト等)を用いることができるようになる。   |   |                              |                   |
| 到達目標(英文)<br>Learning Goals                 | Students understand the language used in corporate finance such as NPV, corporate value, and cost of capital.  |   |                              |                   |
| 授業の概要・背景<br>Course Outline                 | 普段は何気なく使っている「企業価値」という言葉ですが、実はファイナンス理論をもちいて定量的に測定することができるのです。企業買収、合併、IPO、資産運用、事業ポートフォリオ評価 などなど、企業の財務活動、投資活動のほとんど全てに関わるのがファイナンス理論です。一旦習得すると、世の中の見え方が変わります。しっかり学習していきましょう。  |   |                              |                   |
| 授業方法<br>Course Format                      | 基本対面授業ですが、出張や発熱などの体調不良でやむを得ない場合は事前に連絡してください。2回まではオンライン参加を認めます。ただし、中間・期末試験は対面のみ参加可能です。The course is primarily conducted in person. However, if you are unable to attend due to business trips, illness, or other unavoidable circumstances, please notify the professor in advance. Online participation will be permitted up to two times. However, midterm and final exams must be attended in person.  |   |                              |                   |
| 関連科目/Related Courses                       | 統計学(統計学は何をやるにも基礎になります。ファイナンスにおいても、同様に統計学の基礎知識が必要です。Youtube ヨビノリの統計学を視聴して得られるレベルの知識は必ず身につけてから授業に出てください。)コーポレート・ファイナンス応用(生成AIとPythonを使いながら、コーポレート・ファイナンス基礎で学習した理論を基に、データがある場合、各自が持ち寄ったリアルデータで変数を考えながら現実のプロジェク評価を実施します。データがない場合は仮想データで演習します。)マーケットデータ解析(生成AIとpythonを使いながら、証券ポートフォリオの組成と評価を実践します。分析的に物事を考える癖を習得してもらいます。)証券投資(コーポレートファイナンス基礎を履修した後履修することに意味があります)行動ファイナンス(ファイナンスの最先端理論、実証研究に触れることができます。個人的には一番おもしろい分野だと考えています。)企業経営戦略特論N(コーポレート・ファイナンス事例研究):コーポレート・ファイナンスの知識の上に、現代日本の直面している経営課題について議論します。 |   |                              |                   |
| 検索キーワード/Keywords                           | DCF法、割引現在価値、リスク、MM理論、資本コスト、企業価値評価  |   |                              |                   |

|                    | 授業計画<br>Topic   | 授業外学修<br>Study Required Outside Class |
|--------------------|---|---------------------------------------|
| 第1回<br>Session 1   | コーポレート・ファイナンスの考え方 Oct 10  |                                       |
| 第2回<br>Session 2   | リスクの意味・株式リスクプレミアム   | 提出宿題あり(宿題1 株式リスクプレミアム)                |
| 第3回<br>Session 3   | 金利の期間構造(無リスク利率と倒産コスト) Oct 17                                      |                                       |
| 第4回<br>Session 4   | 株式市場について、危険資産の分布  | 提出宿題あり(宿題2 分布の確認)グループワークに向けた集い        |
| 第5回<br>Session 5   | リスクとリターンの理論 Oct 24  |                                       |
| 第6回<br>Session 6   | 株式ポートフォリオとCAPM  | 宿題提出あり(宿題3 金利の期間構造)グループワークに向けた集い      |
| 第7回<br>Session 7   | 中核理論であるCAPMの解説(別角度から) Oct 31 αとβについて資本コストの算出について・WACCの算出、MMの定理の導入 |                                       |
| 第8回<br>Session 8   | 企業価値向上とプロジェクト評価中間試験実施   | 提出宿題あり(宿題3 リアル・オプション)グループワークに向けた集い    |
| 第9回<br>Session 9   | WACCとMM理論の続き Nov 7  |                                       |
| 第10回<br>Session 10 | WACCとMM理論II・負債構成・レバレッジ  | 最終日発表準備に向けた活動                         |
| 第11回<br>Session 11 | リアル・オプション評価、無形資産の評価 Nov 14  |                                       |
| 第12回<br>Session 12 | リアル・オプション評価、Equivalent Annualの考え方                                 | 最終日発表準備に向けた活動                         |
| 第13回<br>Session 13 | ケース発表会 Nov 21   |                                       |
| 第14回<br>Session 14 | ケース発表会総括最終とりまとめ講義   | 最終試験にむけた準備活動                          |
| 第15回<br>Session 15 | 授業内期末試験 Nov 28  |                                       |

|   |  |
|---|--|
| 教科書/Required texts  | 著者名:砂川伸幸 タイトル:コーポレート・ファイナンス入門 発行所:日経文庫 出版年:2017 ISBN:978-4532113681<br>著者名:榎原茂樹・岡田克彦 タイトル:一からのファイナンス 発行所:碩学舎・中央経済社 出版年:2026 ISBN:978-4-502-56261-7   |
| 教科書<br>Required texts   | 『コーポレート・ファイナンス入門』砂川伸幸著 日経文庫 安価な本ですので、各自購入して背景知識を得ておいてください。授業でも時々参照します。   |
| 参考書/Reference books   | 著者名:ブリーリ、マイヤーズ、アレン タイトル:コーポレート・ファイナンス 第10版上下 発行所:日経BP 出版年:2014 ISBN:978-4822248604<br>著者名:池田新介、岡田克彦 タイトル:金融市場の行動経済学 発行所:日本経済新聞社出版 出版年:2025 ISBN:978-4296121502   |
| 参考文献・資料<br>Reference books                                      | 新聞記事や論文など適宜配布しますので、授業が始まる前までに必ず目を通しておいてください  |
| 学位授与の方針との関連<br>Relationship to Diploma Policy                   | 各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。<br><a href="https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabintId=557&amp;directLink=1">https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabintId=557&amp;directLink=1</a> ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可) |
| 課題等へのフィードバック方法<br>Methods for Providing Feedback on Assignments | オンラインで質問日を毎週設けます。質問日のやりとりも録画して共有します。スラックというアプリ(登録無料)をつかって、気軽に情報交換ができる環境を作っています。  |

|                     | 種別 Type   | 割合 Percentage | 評価基準等 Grading Criteria etc.  |
|---------------------|---|---------------|--|
| 成績評価<br>Grading     | 授業中試験/In-class examination(03)  | 70%           | 中間試験+期末試験(持ち込み可の筆記試験)  |
|                     | その他/Others(99)  | 30%           | 宿題の提出状況、内容、グループ発表、クラスへの貢献  |
|                     | 備考 Note   |               | 筆記試験は全て持ち込み可ですので暗記ではなく、概念の理解が重要です。しっかり概念的理解が身につくように努力してください。All written exams are open-book, so memorization is not the focus. Understanding the concepts is crucial. Please make an effort to thoroughly grasp the underlying concepts. |
| 備考 Note             | コーポレート・ファイナンスとともに、是非、池田先生の「証券投資」や「行動ファイナンス」の授業を受講してください。ファイナンスがますます面白く感じられるようになります。ファイナンス的思考は、これからの経営幹部には必須です。エビデンスに基づいた意思決定ができるようになってください。21世紀はデータの時代と言われて久しいですね。データ分析と相性が良いのもファイナンスの面白いところです。コーポレート・ファイナンス→マーケットデータ解析→コーポレート・ファイナンス応用、と生成AIを使いながらプログラミングし、ファイナンス的思考を手を動かしながら習得していきましょう。植野先生によるデータ分析を扱う各科目も積極的に受講してください。他のMBAにはない本学の強みの一つです。 |               |  |
| 更新日時/Date of Update | 2025年12月25日 16時02分07秒   |               |  |

#### ■ 教室情報/Classroom Information

| 項番<br>No. | 履修年度<br>Year | 開講期<br>Term Offered   | 曜時<br>Day and Period | 使用開講期<br>Term for Classroom Use | 教室情報<br>Classroom |
|-----------|--------------|-----------------------|----------------------|---------------------------------|-------------------|
| 1         | 2026年度       | 秋学期前半/Fall (1st Half) | 土曜6時限/Saturday 6     | 秋学期前半/Fall (1st Half)           | OC1004            |
| 2         | 2026年度       | 秋学期前半/Fall (1st Half) | 土曜7時限/Saturday 7     | 秋学期前半/Fall (1st Half)           | OC1004            |